

(1) 発展方向

海・山・平野と歴史が育んだ文化・産業と新たな胎動が融合した 新しい地域モデル「庄内」の創造

庄内の自然や歴史は、城下町・湊町文化、出羽三山信仰に見られる精神文化などの上質な文化を育み、農林水産業や食品産業をはじめとするものづくり産業を育ててきた。庄内は日本の良さが凝縮された地域である。

しかしながら、最近の少子高齢化の加速や雇用の場の不足による若者の流出などによって人口減少が進む中、農業産出額などの減少や世界不況が製造業に大きな影響を及ぼしたことが地域経済の縮小を招き、地域の活力が失われていくなど、我が国内の他の地域と同様の課題に直面している。

このような状況の中にあっても、庄内は、「食」産業分野における企業の全国的な活躍、映画ロケ地として国内外での知名度の向上、生命科学研究の国際的評価など、発展の兆しとなる新たな胎動が生じてきている。

そのため、自然を敬い、人々が支え合う公益の心を大事にし、創意工夫を凝らしながら仕事に取り組むという庄内の姿を守りながら、最近の新たな胎動を活用する取組みを推進し、「伝統と革新が融合した活力に富んだ新しい地域モデル」を創造し、国の内外に存在感のある地域として発展していくことを基本目標とする。

具体的には、地域に多く存在する様々な医療や福祉資源を活用して、子どもから高齢者まで安心して生涯を送れる生活基盤を整備する。さらに、地域資源の掘り起こしや魅力づくり、公益の心や活動を醸成し、地域への愛着心や誇りを育てる。また、「食」を通じた産業の活性化を図り「食の都庄内」としての地域イメージの確立、映画と連携した観光振興などを行うとともに、学術機関などとの連携を活かした知的産業群の構築に取り組む。これらのことと併せて、豊かな環境の保全や北東・東アジアを見据えた交流基盤の整備を推進する。

(2) 取組みの基本方策

① 公益の心と活動が支える安心して暮らせる地域社会「庄内」の実現

庄内にある子育て支援機関などの最大限の活用、海や森を教材にした子どもの教育環境の整備を進める。医療・福祉の充実、高齢者や障がい者への支援を行い、人々が生涯を通して安心して暮らせる社会を実現する。また、地域資源を活用した魅力づくりと公益の心や活動を醸成する取組みを通じて地域への愛着心や誇りを育て、地域の活性化と新しいコミュニティの創造を図る。

② 「食」と「映画」が牽引する「庄内」の魅力発信と雇用を生み出す知的産業群の形成

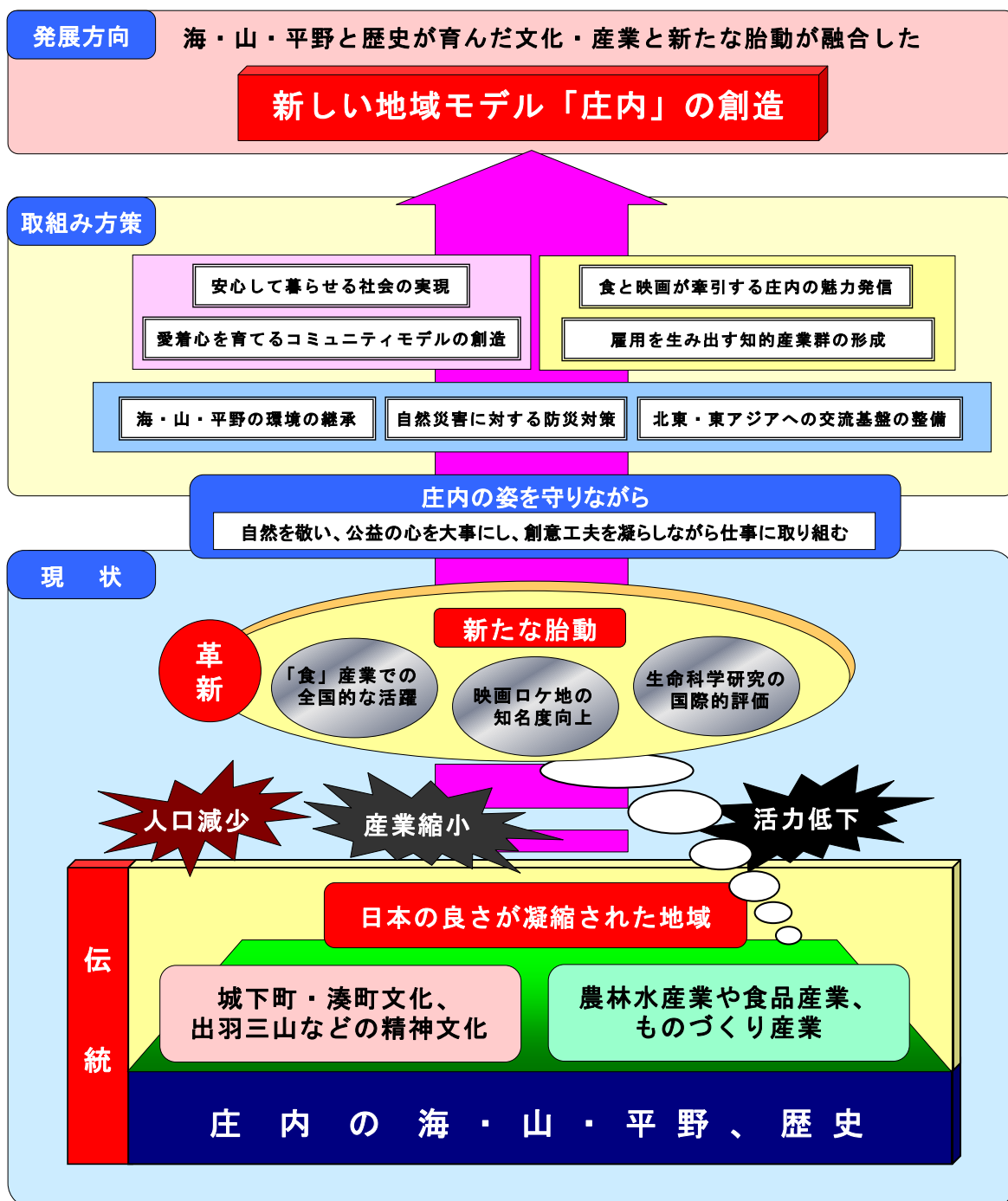
「食の都庄内」づくりを進め、農・畜・林・水産物の生産・加工・飲食サービスなど食に関わる産業の総合的な振興を図るとともに、映画ロケ地としての発信力を活用し、滞在型観光の推進、サービス業などの活性化を図る。また、学術機関・企業間・農商工連携を行い地域産業のクラスターの育成などを進める。研究プロジェクトや企業誘致、新産業の育成などを推進し、地域の特長を活かした知的産業群を構築して雇用の場を生み出し、若者などの定着を促進する。

③ 「庄内」の海・山・平野の環境を守り、北東・東アジアに通ずる交流基盤の整備

日本海、鳥海山、出羽三山や庄内平野などに見られる豊かな自然や景観美と、白鳥の飛来、鮭の遡上に代表される生態系を大事に守って後世に継承する。併せて、小規模水力発電の利用などにより新しい風景を作り出していく。また、自然災害などに対する防災対策を推進する。高速交通網の整備充実と県内他地域や秋田・新潟との広域交流の拡大を推進するとともに、酒田港の物流機能の強化を進め、北東・東アジアへの交流基盤を整備する。

(3) 発展方向のイメージ

【図27】発展方向のイメージ



【図28】短期アクションプラン体系図

庄内地域 短期アクションプラン(平成29年度～32年度) 体系図

